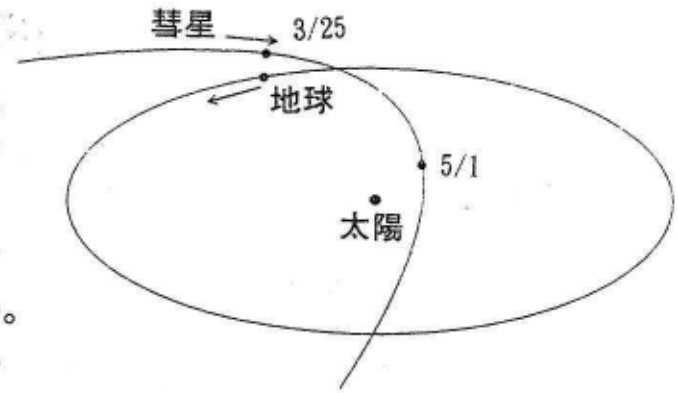
百武彗星を見よう



今年1月31日、百武裕司さんが新しい彗星を発見しました。その後この彗星は地球に近づき、肉眼でも見えるようになりました。このような明るい彗星は20年ぶりですので、この機会にぜひご覧下さい。

一般に、彗星は氷のかたまりのようなものと考えられています。百武彗星の場合は、5月1日に太陽に最も近づきますが、この頃は尾が長く、明るくなります。しかし、この頃は彗星と地球の距離が遠く、見えにくく、むしろ地球に近づく3月25日頃に明るく見えます。その時の距離は1500万Kmほどです。

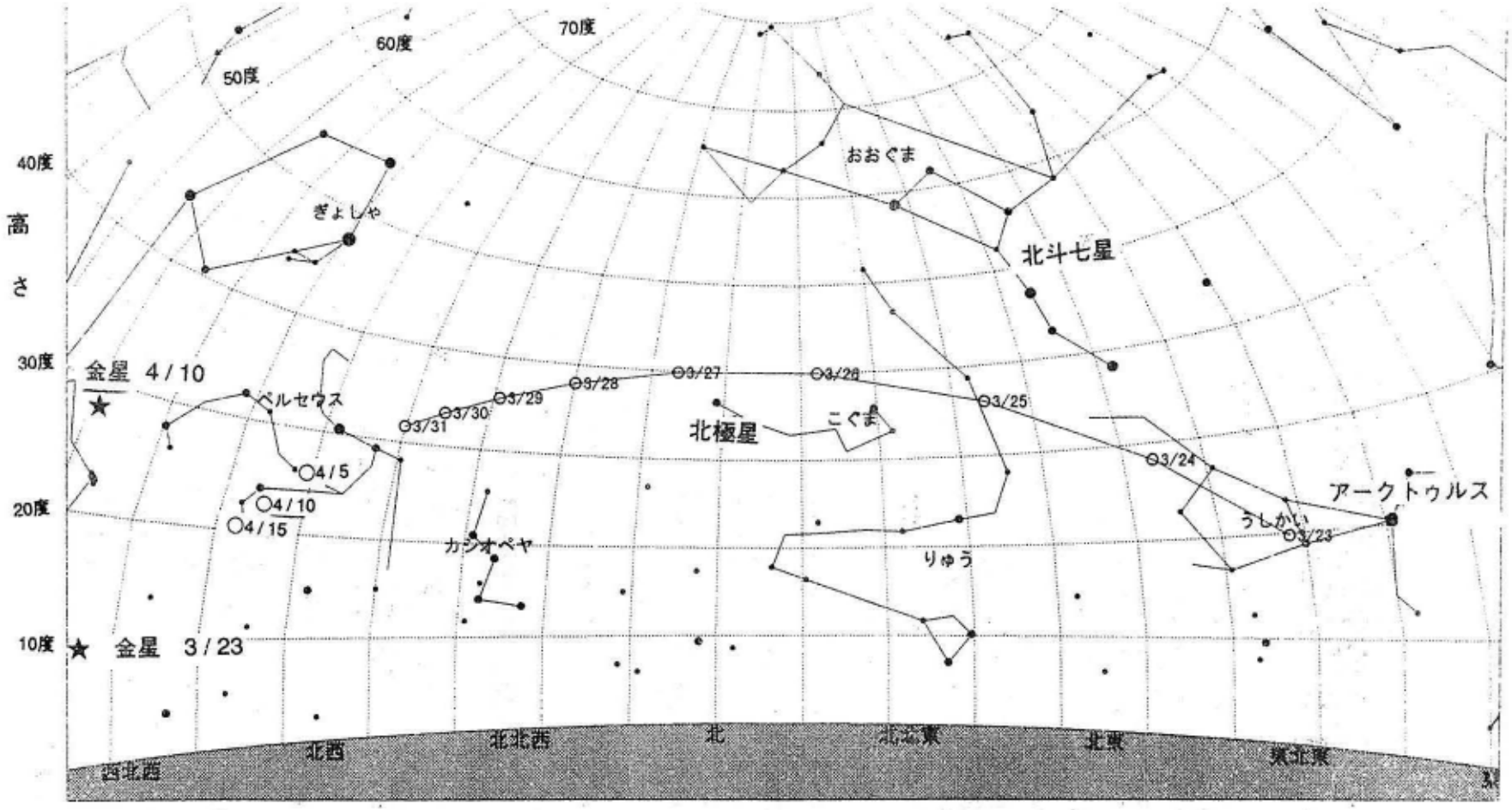
肉眼で彗星が見えると予想されるのは、３月半ば過ぎから４月半ば頃までです。３月は彗星の尾が発達していないので、ぼやっーとした雲のように見えるでしょう。４月半ばには尾のある姿が見えるかもしれません。彗星は毎日位置を変えるので、裏の図を参考に星をたどりながら見つけて下さい。双眼鏡で見れば、よく見えます。星は時間とともに東から西へ移動するので、ご注意下さい。なお、彗星の見える時間と方向は以下の通りです。

3月23日-25日	午後10時以降に北東の空、北斗七星の近くに見えます。
3月26日-28日	北極星の近くにいて、ほぼ一晩中見えます。 この頃が最も明るく、北極星程度の明るさに見えるでしょう。
3月29日ー4月9日	夕方の北西の空に、非常に明るく輝いている金星の右に見えます。 ※月明かりの影響があるので、4月6日以降が見やすいでしょう。
4月10日-15日頃	夕方の北西の空低くに金星の右に見えます。北極星より少し暗い程度の明るさとおもわれます。※午後８時過ぎには見えなくなります。

なお、観測会を3月23日(土) 午後10時-12時、3月26日(火)午後8時-10時に、富山市天文台（呉羽山）で、４月6日（土）午後6時半-8時に、富山市三熊の古洞ダムで行います。

※いずれも雨天曇天中止です。

（渡辺　誠）



百武彗星を見よう（3月23日は午後9時頃、4月8日は午後8時頃の北を中心とした空）

富山市科学文化センター
〒939富山市西中野町1-8-31 TEL(0764)91-2123